

# SDT

## 制振工学研究会通信

SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS

2015年 4月号

2015年 4月 1日発行  
編集 集：会報編集委員会  
編集責任者：小白井 敏明  
担 当 者：山口 道征  
URL <http://www.sdt-jp.com>  
E-Mail:info@sdt-jp.com

### ◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL:[yamagu@pc.highway.ne.jp](mailto:yamagu@pc.highway.ne.jp)

### ◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名 称	内 容
15. 05. 14	日本合成樹脂技術協会会議室	建築への制振材料適用に関する技術講習会	技術講習会のご案内参照

### ◇分科会・WG・委員会の予定

開催日時	開催地・会場	名 称
15. 04. 14 15:00~17:00	日東紡音響エンジニアリング 7F. 会議室	利用技術分科会・建築における制振材料利用技術WG
15. 04. 16 13:00~15:00	工学院大新宿校舎A-1711室	会報編集委員会・ホームページ WG、編集委員会
15. 04. 16 15:00~17:00	工学院大新宿校舎A-1711室	役員会

### ◇会員消息 (2015年 4月 1日現在)

○会員数		○退会者	
法人会員	25 社		—
個人会員	52 人		1名
学生会員	2 人		—

### ◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
15. 04. 21	刈谷ビッグ記念青少年総合センター (東京都渋谷区)	2015春季研究発表会	日本騒音制御工学会 <a href="http://www.ince-j.or.jp/02/page/02_a.html">http://www.ince-j.or.jp/02/page/02_a.html</a>
15. 04. 28	東工大・イノベーションセンター (東京都港区)	建築音響研究会	日本音響学会 (別紙)

### ◇技術講習会のご案内

## 【建築への制振材料適用に関する技術講習会(入門編)】

開催日時：2015年5月14日(木) 13:00~17:00

会 場：(一社)日本合成樹脂技術協会5階会議室

内 容： 大学や建設会社、音響コンサルタント会社で直接、音・振動制御に関わっている講師をお迎えし、主に制振工学に従事した経験の浅い方々を対象に、建築への制振材料の適用に関する基礎から応用まで、予測技術についての事例を含めた講習を行います。また、講習内容の理解のために、簡単な演習も用意します。最後に、講師の方々との十分な質疑応答の場を設けます。質疑応答では、日頃疑問に思っていることも気軽に質問してください。演習は講義に関連した内容で特に事前の準備は必要ありません。

修了証書：参加者には講義終了後に制振工学研究会講習会修了証書を発行いたします。

定 員：20名、申込先着順により満員になり次第、締め切ります。

(参加者が少ない場合、中止することがあります。あらかじめご了承ください。)

受 講 料：会 員 15,000円、学生会員 無料

会員外 25,000円、会員外(学生) 5,000円

申込締切：2015年4月30日(木)

主 催：制振工学研究会

(次ページに続く)

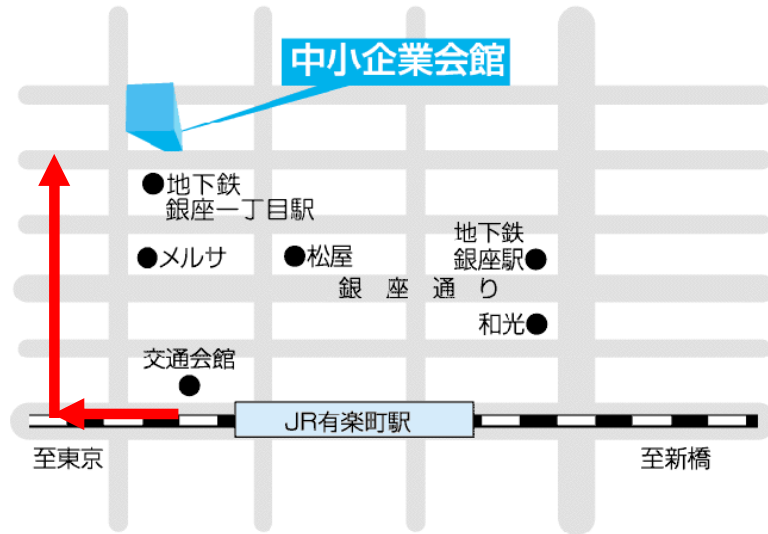
申込先：(一社)日本合成樹脂技術協会内 制振工学研究会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 5F.

電話 03-3542-0261、FAX 03-3543-0619、E-mail [info@sdt-jp.com](mailto:info@sdt-jp.com)

会場案内：(一社)日本合成樹脂技術協会は、下記「中小企業会館」の5階になります。

JR有楽町駅方面から来ますと、「中小企業会館」という大きな看板が出ています。



地下鉄有楽町線銀座一丁目駅  
地下鉄銀座線銀座駅  
JR有楽町駅

徒歩1分(11出口)  
徒歩7分(A13出口)  
徒歩13分

## プログラム

13:00～13:45 制振概論 (45分)

山口 道征(エム・ワイ・アークステク)

講義内容：有限の空間における音波の振る舞いは、ほぼ固体音の問題に帰着します。発生源が音波であろうと、機械的加振源であろうと、制御すべき対象は振動音ということになります。制振は、その制御の一手法で、材料の抵抗要素により固体音を制御しようとするものです。ここでは制振の基礎を学ぶとともに、制振材料による制御事例について説明いたします。

13:55～14:25 窓サッシの制振・遮音に関する数値解析 (30分)

山口 誉夫(群馬大学)

講義内容：粘弾性制振材料を適用した構造物の振動減衰特性、応答の数値解析法について説明します。有限要素法とモード歪みエネルギー法に着目し、基礎理論、計算精度を示します。さらに制振工学研究会の「建築(住宅)における制振材料利用技術WG」で取り扱っている研究課題「窓サッシの制振遮音特性に与える周縁の支持構造の減衰特性の影響」を例として説明いたします。

14:35～15:20 建築への制振材料の適用事例 (45分)

小林 真人(飛鳥建設)

講義内容：住宅建築物・空調衛生設備・劇場建築・事務所・鉄道高架下建築における床衝撃音対策や固体伝搬音対策としての制振材料の適用について、制振工学ハンドブックに示された事例を中心に説明いたします。

15:30～17:00 振動・騒音対策に関するワークショップ (90分)

講師全員

講義内容に関連した簡単な演習を行い、講習内容の確認をしていただきます。その結果を発表してもらい、講師の方々との具体的な討論を行います。ここでは、課題以外の日頃疑問に思っている問題も含め、質疑応答の時間をできるだけ多く持つようにいたします。なお、演習内容は講義に関連しており、特に事前の準備は必要ありません。

司会：山本耕三(東洋建設、建築(住宅)における制振材料利用技術WG 主査)

(次ページに続く)

講師略歴：

山口 道征 エム・ワイ・アークステック代表。長年、ブリヂストンにて、防振材料、制振材料および吸音材料の研究開発に従事し、材料物性と音・振動制御メカニズムとの関係に造詣が深い。制振工学研究会役員でもある。

山口 誉夫 群馬大学大学院 理工学府教授。富士重工業スバル研究所にて振動騒音に関する CAE 予測技術の研究を行い、その後、2003 年から群馬大学工学部助教授、2007 年から同大学准教授、また 2010 年から同大学工学部教授として教育、研究に従事している。制振工学研究会役員でもある。

小林 真人 飛鳥建設・技術研究所・研究開発グループ・第二研究室長。長年、建設事業における音振動制御技術の開発研究に従事し、建築における制振材料の適用技術に造詣が深い。制振工学研究会役員でもある。

## 関連学協会等の行事案内別紙

日時 平成 27 年 4 月 28 日 (火) 13:30~16:30

場所 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター (東京・田町)

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6 (都営三田線三田駅, JR 山手線田町駅徒歩 3 分)

アクセス情報 : <http://www.cictokyo.jp/access.html>

参加費 無料 (事前申込不要)

資料代 1,000 円 (建築音響研究会の年間購読会員の方は無料)

議題 — 一般 —

— 13:30~14:50 —

1. 音響管計測における固定支持及び空隙条件多孔質材料の計測値の簡易予測の試み

○井上尚久, 佐久間哲哉 (東大・新領域)

2. 垂直入射吸音率における多孔質弾性材料の Biot モデルに対するパラメータスタディ

○廣澤邦一 (日東紡音響), 鈴木久晴 (日本エヴィクサー), 中川博, 高橋宏治 (日東紡音響)

— 休憩 (20 分) —

— 15:10~16:30 —

3. JCA モデルの非音響パラメータを決定するための様々な取り組み方

○木野直樹 (静岡県工業技術研究所)

4. 地表面音響特性の変動要因に関する基礎的研究

— 気象及び地表面吸音率の定点観測と音響管測定による検討 —

○大嶋拓也, 黒坂優美, 山田博紀 (新潟大・工)

・研究会終了後、懇親会を予定しています。

事務窓口	〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18	一般社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261	Fax. 03-3543-0619
	URL <a href="http://www.sdt-jp.com">http://www.sdt-jp.com</a>	E-Mail: <a href="mailto:info@sdt-jp.com">info@sdt-jp.com</a>